



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
4/28 (月)	▲ 1,100	+ 14,100	+ 13,000	国庫短期証券発行償還 (3M)	国債補充供給 + 1,800 社債等買入 ▲ 500	国債買入 + 7,200	
4/29 (火)				昭和の日			米：消費者信頼感指数 (4月) 欧：ユーロ圏消費者信頼感指数 (4月)
4/30 (水)	▲ 1,000	+ 2,300	+ 1,300		共通担保 ▲ 8,000		日：日銀金融政策決定会合 (1日目) 小売売上高 (3月) 米：GDP (1Q、速報値) 欧：ユーロ圏GDP (1Q、速報値)
5/1 (木)	▲ 1,000	▲ 23,000	▲ 24,000	国債発行償還 (2年)			日：日銀金融政策決定会合 (2日目)
5/2 (金)	▲ 1,000	▲ 37,000	▲ 38,000	法人税・消費税・保険料繰上げ			日：失業率 (3月) 米：雇用統計 (4月) 欧：ユーロ圏製造業PMI (4月) ユーロ圏CPI (4月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比4,900億円増加の538兆5,600億円から始まった。その後、各種財政資金の払いや申告所得税揚げ等の要因により増減し、25日は541兆4,800億円 (速報) で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.476%から始まり、その後も横ばい圏で推移した。

ターム物は1W～3W物0.478%～0.650%のレンジ、1M～3M物0.545%～0.630%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、国内では、4月30日・5月1日に日銀金融政策決定会合、海外では30日に米・ユーロ圏GDP (1Q、速報値)、5月2日に米雇用統計 (4月) とユーロ圏CPI (4月) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.450 ～ 0.478
1M	0.53 ～ 0.70
2M	0.55 ～ 0.75
3M	0.58 ～ 0.75
6M	0.65 ～ 0.80

<レポ>

足許GC取引は週央まで+0.49%近辺で出合い。24日は+0.49%から出合い始めたが、後場に+0.47%近辺の取引も見られた。轮番オベのあった25日は、+0.48%～+0.49%のレンジを中心に推移した。

SC取引は2年460～468回債、5年155～177回債、10年355～370回債、20年110～130回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.40台
CP 3M	0.55 ～ 0.65

<CP>

今週の入札発行総額は約2兆8,500億円で、週間償還額の2兆6,700億円を上回った。発行残高は先週末時点の23兆695億円から、4月24日時点で23兆6,501億円に増した。発行市場は、電気業、小売業、卸売業、不動産業、その他金融業で大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは、日銀の早期の利上げ観測が後退したことにより、a-1格相当の1か月物では、0.50%台前半から0.50%台半ばでの出合い、3か月物では0.50%台後半から0.60%台半ばとなった。

来週の償還額は6,600億円となっている。発行市場は、償還額と同程度の発行が見込まれる。1か月物に関しては0.50%台前半から0.50%台半ばでの出合い、3か月物に関しては0.50%台後半から0.60%台半ばと、横ばい圏での出合いを予想する。

<TDB>

4月25日の3M (1302回債) の入札は、最高落札利回り0.3974% (前回債0.4329%)、平均落札利回り0.3793% (前回債0.3716%) となった。

来週の入札は5月2日に3Mが予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。